地区広報
芸術の森

題字　平澤　博

第21号
平成23年11月30日
発行　地区広報・芸術の森編集委員会
印刷　(株)辻　孔　版　社

芸術の森地区の新たな「秋の風物詩」

サクラマスの遡上に因んで

芸術の森地区連合会　会長　**関　口　　明**

芸術文化の秋に因んで開催された11月２～３日の文化祭、同13日の音楽祭は、盛会のうちに終わることができました。一重に地域の方々のご協力の賜物と心よりお礼申し上げます。

また、不法投棄ごみ拾いも11月３日実施が定着し、各町内会の環境衛生部の役員の方々のご協力をはじめカッコウの里を語る会の皆さんのご協力により、粗大ごみの撤収を行なって頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

◆第19号に希望的観測として書きました真駒内川の改修に伴うサクラマスの遡上について、９月19日常盤人道橋で地元の方により確認されました。続いて９月26日サケ科学館の調査により常盤新橋上流まで遡上したことが確認されています。

常盤人道橋では、地元の方が数多く見に来られ、澄んだ水の中で一生懸命産卵床を作っているマスを見て、感激に浸っていました。この地域の風物詩として定着するよう願っています。

芸術の森地区まちづくりセンター・同連合会のホームページが公開されました

芸術の森地区
"Geijyutu no mori" Machizukuri center.
まちづくりセンター

この度、「芸術の森地区まちづくりセンター・同連合会」のホームページが出来上がり公開されました。このホームページは、芸術の森地区まちづくりセンターと芸術の森地区連合会の二つからの情報発信を予定しています。更新作業は、まちセン職員が日常作業の中で行うため、定型での変更作業が多くなりますが、地域の皆様からのご意見をお聞きしながら、より親しまれるホームページにしたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

<アドレス> http://www.geimori.com/

芸術の森地区連合会のシンボルマークが決まりました

BEAUTIFUL TOWN
芸術の森地区

今年春から地区内で一般公募をしておりました芸術の森地区連合会のシンボルマークに、地域や学校関係を含め２８名の方からの応募がありました。連合会理事会で厳正な選考を行なった結果、優秀賞（左図）は札幌市立大学３年の首藤翠（しゅとうあきら）さんに、佳作（２点）は、同大学２年の川村槙吾さんと同大学４年の千葉絵理子さんの２人に決定致しました。今後、芸術の森地区連合会で作製する見守り啓発品（帽子、ベスト等）や交通安全の旗、広報紙等にこのデザインを使用致します。

首藤翠さんの話▶真駒内川のきらめき、芸術の森地区を通る真駒内通の道筋をデザインに取り入れました。上に向かって伸びる鋭い３本の線は、油絵の道具アートナイフで描いた線にも見え、芸術の森に近い地区である事を示すと同時に、パワフルで躍動感あふれる地域を象徴しています。

もりの仲間の子どもを見守る会　「秋の研修」終わる

防犯防災部長　山本　悟

去る10月20日芸術の森地区会館において、各校区の子どもを見守る会の方々等多くの皆様の参加を頂き秋の研修会を開催しました。今回は、札幌市教育委員会指導主事の石井貴司先生をお招きし、「実態調査から見た札幌市の子どもの姿～小中高生の意識や行動～」と題して講演を願ったあと、各校の教頭先生より、子どもの安全安心にかかわる特徴的な取り組みについて紹介願い、学校、保護者、地域一体となった取り組みの重要性を再認識することが出来、有意義な研修会でした。

講演を通じて考えさせられた主な点は以下のとおりです。

・就寝時刻は、学年が高くなるほど遅く高校生では60%が午前0時以降、就寝時刻の遅い子どもほど自分の体調を「疲れている」と表現しています。

・朝食をとらない子どもは、学年を問わず10%、その理由は時間がない。一方朝食を誰ととるかについては、小学生20% 中学生35% 高校生で55%が一人でした。

・イライラすることがあると答えている子どもは、「時々ある」を含めて学年を問わず70%、その要因は友達関係、親・先生、自分の体調不良をあげています。

・困ったときの相談相手では、誰にも相談しない子どもが学年を問わず10%、家庭内での会話もほとんどないが20%。

そのほか、子どものネット・メール事情等について紹介がありましたが、これらの結果を踏まえ「子どもたちとどう向き合えばよいか」については、子どもの成長を良く観察し信頼関係を築くよう心掛けることが肝要。「子どもが信頼を寄せる人」とは、話をよく聞いてくれる人。困った時や悲しい時に傍にいてくれる人。約束を守ってくれる人とのことでした。肝に銘じたいものです。

教育委員会・石井さん

常盤中学・森田教頭

常盤小・綱淵教頭

石山東小・田中教頭

駒岡小・大場教頭

不法投棄回収活動

環境衛生部長　齋藤　公博

芸術の森地区クリーンさっぽろ衛生推進協議会では、今年度事業の一つとして、平成18年度より不法投棄監視員により継続して行なっている不法投棄回収活動を、11月3日（祝日）好天の中実施しました。

回収場所は「道道滝野・真駒内線」2．5km

集合場所は「恵開拓記念碑前」、

集合時間の午前9時には監視員を始め14人（子供一人を含む）が集まり開始しました。

不法投棄は大型テレビ、冷蔵庫を含む電化製品を始めタイヤ・スプリングベッド・ペットボトル等大量の色々な投棄物があり、中には4・5人掛かりで苦労をして沢から回収の大型テレビもあり、即日南区清掃事務所で回収をしましたが、1．7tもの大量不法投棄回収物がありました。

日常町内会単位で監視・回収を頂いておりますが、目の届かない所でのマナー違反の不法投棄がいかに多いか改めて考えさせられ、今後も啓発等を通じ、無くす努力をしたいと思います。

又同日、「カッコウの里を語る会」メンバー20名も「石山・穴の沢線」を中心に、不法投棄回収にご協力頂きました。

回収活動に参加・ご協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。

入所サービス
ショートステイ
みなさまの想いにおこたえいたします
通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
アートヒルズ
〒005-0849 札幌市南区石山837-47

0120 FreeDial
みんな しあわせ 365日
0120-348-365

交通安全部長から

交通安全部長　金子　侑

早いもので今年も残り1ヶ月を残すだけとなりました。

新任の交通安全部長として、この8ヶ月を振り返り、皆様のご協力に感謝するとともに、交通安全運動を盛り上げることの難しさを感じております。特に今年は雨の多い年だったのか、街頭啓発も春と秋の二回中止になりました。

さて、この芸術の森地区は坂道が多いことも一因なのか、自転車の運転マナーの悪さが目立っており、それによる事故の発生を懸念しております。

皆様ご存知のこととは思いますが、自転車は車であり原則車道を走行することになっております。当然道路交通法に違反した場合は、罰金等の罰則があるとともに、悪質な場合は逮捕されることもあります。

特に、下りの坂道を交差点の一時停止を無視するなど安全確認を怠りスピードを出している自転車、歩道でスピードをゆるめずに歩行者を追い越す自転車等、危険な行為を見かけることもあります。

車や歩行者との接触等により、本人の怪我はもとより歩行者にも怪我を負わせることになり、多大な保障が生じる場合もあります。このことにより、被害者・加害者ともに人生を大きく狂わせる場合もあります。当然のことですが、自転車が歩道を走行するときは歩行者が優先ですので、自転車はスピードを落とし歩行者に十分注意して走行してください。

季節はもう冬です、冬道事故が多くなる時期なので、交通安全に十分注意して、良いお年をお迎えくださることをお願いいたします。

プレゼントありがとう

交通安全母の会会長
三上　良子

芸術の森地区町内会連合会が平成7年に発足して16年、時を同じくして母の会も発足し、女性部が兼務しております（実態に即した規則改正をおこなったのは平成19年のことです）。皆様が良くご存知なのは、小学校新一年生に向けての母の会からのプレゼントかもしれません。今年も交通事故ゼロを願いお祝いさせていただきました。これに加え、年4回のまちづくりセンター前での啓発運動、そして敬老の日には、年齢の高い方への啓発品の配布も実施しております。数に制限があるため町内会ごとに町内会のお力をお借りし配布させていただいております。

今年はエコバッグでした。利用頻度が高く好評でした。対象はアートパークタウンでした。

女性部研修会

介護が必要になったとき、どうすればいいの？

…介護保険の仕組みって難しい…

女性部長　三　上　良　子

10月12日（水）恒例となっています女性部主催による研修会を実施しました。毎年その時期のタイムリーなテーマを取り上げているところですが、今年は「介護が必要になったとき、何をどうすればいいの?」でした。講師には、社会福祉法人北海道ハピニス地域事業部長、介護予防センター石山芸術の森センター長であり、札幌市介護支援専門員南区副支部長及び、札幌市介護認定審査会審査委員も兼務されておられる檜森道子氏をお呼びし、現場に近いところでのお話をきかせていただきました。

制度発足当初は介護が主でしたが、現在介護予防に力を入れているのは、利用者が増加し公費負担が増加していること、加えて楽しい老後を送るためには必要であることが話されました。40歳から介護保険料を支払い、今後この制度がどのように変更を重ねていくのか、又、専門用語が多く使われていることから、なかなか理解できず、参加者には一抹の不安を感じさせることとなったかも知れませんが、まず、介護に関する糸口がつかめたかと思います。

高齢社会といわれ久しいところですが、この芸術の森地区も例外ではなく、高齢者人口は増加の一途をたどっております。親・配偶者のみならず自分自身にも介護の必要性は近づいているのかもしれません。とはいえ自分で身の回りのことが出来、隣近所気軽に言葉を交わして生きていけるようにしたいものです。研修会参加者46名。

平成２３年度芸術の森地区　雪あかりの祭典　日程

芸術の森地区「雪あかりの祭典」は、今年６回目を迎えます。８月１０日に実行委員会を行い、今年度の予定が決まりましたのでお知らせいたします。

１．芸術の森周辺
　・芸術の森・関口雄輝記念美術館・常盤児童会館（平成２４年1月２８日（土））
　・札幌市立大学（２月４日（土））

２．石山緑地
　・南老人福祉センター・見晴町内会（２月４～５日（土日））

３．駒岡地区
　・駒岡小学校（２月２～３日（木金））
　・保養センター駒岡（２月１１日（土））

４．イルミネーション点灯（１２月上旬～２月中旬）

各会場では、昨年と同様なイベントを検討しています。内容につきましては、チラシ・ポスターの準備をしていますので、出来次第回覧等いたします。

なお、南区全域がシーニックバイウェイのルート認定を受けましたので、地域外へも発信していく予定です。

（文責　総務部）

福祉除雪サービスのご案内

例年、地域の支えあいとして札幌市社会福祉協議会と札幌市が実施の「福祉除雪」は、地域の協力員の方々のご協力により実施する事業で、申し込み等は、芸術の森地区社会福祉協議会（電話：592−7144）が窓口となっており、概要は、以下のとおりです。

本年度の申込みは、10月14日現在、南区は５０４件で、この内、芸術の森地区が３９件あり、地域協力員３９名により行われます。

なお、申込みは、終了いたしましたが、ご利用の方は、ご相談ください。

（1）利用対象者　道路に面している1戸建て住宅に居住し、約500m以内に除雪を援助できる子又は配偶者が居住していない世帯、自力で除雪が困難と認められる世帯
　①　７０歳以上で、構成されている世帯。
　②　重度（1・2級）の身体障害のある方のみ構成されている世帯。
　③　７０歳以上の方と重度の身体障害のある方のみ構成されている世帯
　④　区社会福祉協議会が特に認める世帯。

（2）除雪内容　間口部分（道路に面した出入り口部分）を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先までの通路部分を歩行に支障のない80cm程度の幅を除雪。

（3）除雪日時　道路除雪の行われた日の午前中。

（4）除雪期間　平成23年 12月1日（木）～平成24年 3月25日（日）

福祉除雪協力員の募集

福祉除雪に協力していただける「地域協力員」の募集は、南区社会福祉協議会（電話：582−2415）で行っております。（申込み用紙は、別途）

なお、性別、年齢は、問いませんが、健康に自身のある方で、ボランティア活動にご協力いただける方は、是非、お申込みください。

―くつろぎの宿―
札幌市保養センター 駒岡

宿泊・入浴・休憩・宴会・パークゴルフ（屋内・屋外）熱帯植物館・マージャン
※無料送迎バスあり（10名様以上・要予約）

日帰り料金
60才以上　300円～
小学生　400円～
大人　400円～

宴会プラン
日帰り　2,000円～
宿泊　5,000円～
※10名様以上より承ります。

こまおか冬まつり
日時　平成２４年２月１１日（土）
もりの仲間のこまおか朝市は１２月～翌４月までお休みします。
（冬まつりは出店します）

季節プラン　6,500円～
１泊２食
※冬期暖房料が別途かかります

TEL　011-583-8553
FAX　011-583-8574
札幌市南区真駒内600番地20
指定管理者　札幌市福祉事業団
保養センター駒岡　検索

札幌市立常盤中学校 開校６０周年を迎えて

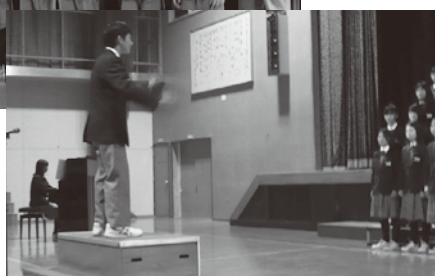
札幌市立常盤中学校　教頭　森田　光

本校は、昭和２６年、豊平町立常盤中学校として開校し、今年度で61年目を迎えました。今年４月１日に「祝開校６０周年」の看板を設置したことに始まり次のように記念事業を進めております。

９月２２日、「６０周年記念学校祭」実施。６０年を振り返るスライド放映・町内会からお借りした太鼓１６台による演奏等。

１０月２８日、「６０周年記念合唱コンクール」実施。最後に全校生徒による校歌斉唱。

学校祭



合唱コンクール

１１月２日、記念メインイベントとしての「６０周年記念公開授業」では、２年生の道徳の時間に、保護者・地域の方々にゲストティーチャーとして参加してもらい、フリートークを通じ「命」「生きる」ことについて考えました。

道徳の時間

同日実施の記念講演会は、地域在住の下川靖夫氏を講師にお招きし、「部活・勉強・語学として自転車世界旅」という演題で講演をしていただきました。同氏は毎年５～６回ハーフとフルマラソンの出場経験者であり、世界５２カ国を自転車で旅し、５ヶ国語に精通している方です。経験をもとに生徒達に話していただきました。生徒達の反響は大きく、心に響くものでした。

講演会

本校は６０周年を迎え、新たなステージへと歩みを進めることになります。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い致します。

第16回 芸術の森地区音楽祭

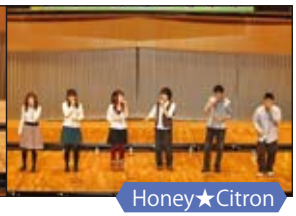
主催団体　芸術の森地区連合会
（財）札幌市芸術文化財団芸術の森
主管団体　札幌市常盤中学校区青少年健全育成推進会

常盤小スクールバンド

駒岡小

石山東小

稲翠流詩吟旭玲会札幌心玲会


Honey★Citron

常盤中学校吹奏楽部

沓野　勢津子

笙

札幌ジュニアジャズスクール2011

コラル・ラ・フォレ

芸術の森地区音楽祭～感動の1日でした

去る11月13日（日）13:00～札幌芸術の森アートホールにおいて開催され、感動の中終了いたしました。平成7年度より常盤中学校区青少年健全育成推進会が中心となり、音楽の提供と青少年の健全育成に力を注いだことが発端です。平成11年度からは「芸術の森地区音楽祭」に名称を改め、平成16年度からは（財）札幌市芸術文化財団「芸術の森」が主催団体に加わり発展を続け今年は16回目を迎えました。地域在住の方がアーテイストとなり地域に住む人々の感動を呼ぶこの音楽祭はその歴史の重さを感じさせるものでした。出演者・観客者1,500名。

常盤中3年

常盤中2年

常盤中1年

邦楽アンサンブル“白雪”

CALPIS

第17回 芸術の森地区 文化祭

例年文化の日にあわせ開催されている芸術の森地区の文化祭は、今年で17回目となり、11月2日3日の両日開催されました。この地域には才能豊かな方々が多くお住まいで、展示される作品は、訪れる方の目を楽しませてくれました。陶芸・工芸・書・絵画・写真・手芸等々あらゆる部門からの作品でした。今年の地域行事のビデオ映像も放映され、23年度前半の行事を振り返ることも出来ました。

この季節にはめずらしく好天に恵まれ150名の方が訪れました。

（文責　芸術・文化部長　塩崎典男）

元気いっぱい お友達もたくさんできました

もりの仲間の子育てサロン

毎月第1・第3水曜日に実施するサロンは、子供たちとお母さんたちの交流の場として毎回元気な声が響いています。大きくなってきた子供たちは、奥の部屋でボール遊びに熱中です。お絵かきの好きな子、本読みの大好きな子、ままごと遊びの好きな子、皆とても楽しんでいます。本の貸し出しも好評です。お母さんたちの読む本も用意しています。

9月21日には春に植えたジャガイモの収穫をしました。初めての体験もあったでしょう。大喜びで土とのふれあいを楽しんでいました。

サロンでは、季節の行事を取り入れています。

12月21日にはクリスマス会を実施します。場所はサロン会場――芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）（文責　社協子育て支援部長　三上良子）

福祉施設見学会

芸術の森地区社会福祉協議会　高齢者支援部長　目次　敬紀

11月8日（火）、芸術の森地区内福祉推進員・同関係者41名が参加し、後志管内京極町所在の「特別養護老人ホーム・ユニットケア慶和園」を見学しました。

慶和園は、「養護老人ホーム」（定員70名、職員34名）、「特別養護老人ホーム・ユニットケア」（定員20名、職員19名）の2事業を行い、“十分な設備とスタッフが配置された施設”との説明を受けた後、約10名づつ4組に分かれて園内を巡り見学しました。ただこの種の施設に共通することですが、「“運”の良い人を除いては、“待ち”は3～4年」だそうです。又ここは原則的に入居対象は後志管内居住者（ただし、現在　札幌や他町の人も入っている）」とのことでした。

私達は、心身ともに「いつ」「どうなる」かわからず、しかも“想定外”として早めに申し込むわけにもいきませんから、いつでもこれら施設の所在等を把握し、隣近所を含めて“その時”に備えておく必要があるでしょう。

「予報では雨」でしたが天気にも恵まれ、往路の京極ふきだし公園、復路の喜茂別・きのこの里共々季節感も満喫できる意義のある研修見学会となりました。

秋の味覚満喫とゲームに熱中！

もりの仲間の三世代交流会

ふれあい部長　下総　仁志

去る9月3日（土）、常盤児童会館で「もりの仲間の三世代交流会」を、開催いたしました。

この催しは、地域の子供からお年寄りまでが集い、秋の味覚を味わいつつ、ゲームやおしゃべりをしながら、三世代の交流を深めるという催しで、好評の中、今年で9年目を迎えました。

当日は、台風12号の影響で朝から雨模様の中、準備を開始しましたが、開催の時間には小雨となり、参加者は過去最高の267名となり盛大なスタートとなりました。

今年は、ご高齢の方と小学生がゲームで対抗戦を行いました。楽しいゲームでも勝負です。小学生の皆さんは全力を尽くして競技に臨んだのですが、そこは年の功、ご高齢の方が優勝となりました、来年は小学生チーム、優勝を目指して、日々、常盤児童会館で練習を重ねましょう。ガンバレ！！

楽しいゲームで体を動かした後は、秋の味覚、ホクホクのジャガイモの上にはとろけるバター、茹でたてのトウキビと枝豆、それに、北海道牛乳普及協会提供の美味しい牛乳を満喫しました。

ところで、皆さんご存知でしたか、赤い羽根共同募金会には、「共同募金助成金」という、制度があります。「もりの仲間の三世代交流会」では、今年、この制度を活用し常盤児童会館の子供たちが楽しく遊ぶ遊戯を購入しました。

遊具名は、「ラダーゲッター」です、遊び方は簡単のようで難しいゲームです。一度、児童会館でチャレンジ！

来年は、10周年を迎えます。多くのご参加を期待します。

ふれあい行事

「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第6回目は地縁団体石山八区町内会です。

地縁団体石山八区町内会

町内会長　寺田　利夫

地縁団体石山八区町内会は、戦後開拓に入った先人達によって拓かれた所です。
同町内会は（地）石山八区町内会水道部会という名称で自前の簡易水道を運営、美味しい水を供給しています。
又、石山八区町内会は、行政の指導により、地縁団体石山八区町内会という組織になり、現在38戸足らずの町内会です。

① 新年恒例会　　八区開拓神社参拝
② 町内会館雪降ろし
③ ごみ清掃　資源回収
④ 草刈
⑤ 八区開拓神社　夜宮祭
⑥ 敬老の日
　祝い金をお渡ししました（今年度５名）
⑦ 婦人部　　懇親会

以上今年行われた行事を紹介しました。

南区で最近熊出没のニュースをよく聞きますが、町内の家の庭先に熊ならぬ人間が無断で侵入して、山ぶどう等を取ろうとする人達がいます。注意をすると、逆切れをされます。
私共にしてみれば、熊より先に即時にお帰りいただきたい思いです。
尚、嬉しいニュース、今年の春、赤ちゃんが誕生しました。

真駒内川改修工事

真駒内川を考える会　会長　関口　　明

真駒内川改修工事は去る10月3日、平成23年度下半期工事内容の説明会が、芸術の森会館で約20名が出席して開催されました。（工事内容は以下の通りです）

工事区間　常盤1号橋迄の300m
工事期間　平成23年9月16日～平成24年3月21日
施 工 者　株式会社日栄建設

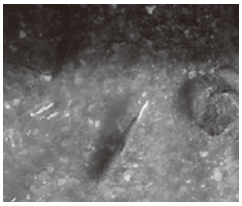
今回の工事は掘削工事、護岸工事が主体です。

1．掘削工は常盤団地側･石山東側両方を施工しますが、護岸工事は石山東側のみとし、常盤団地側は24年度とする。
2．土砂排出運搬道路は、振動、砂埃等地域住民の事を考え、石山東6丁目･7丁目2本用意、各々一方通行とする。
3．道路清掃用には散水車、冬季土砂排出運搬路には、除雪用ショベルを常備し無事故に万全を期す。

しかし、10月21日の北海道新聞29面で9月4日からの大雨で斜路6カ所の壊れを報道され現在工事は停止しております。

発注者の札幌建設管理部では、早急に今後の工事方法を検討し、12月の中頃までには地域住民代表を含めた検討会（仮称）を立ち上げ協議し、平成24年1月には工事を再開したいとしています。

9月19日にはサクラマスの遡上と産卵も常盤人道橋付近で確認されており、付近の住民はもとより、噂を聞きつけ見にくる方もあり観光スポットにもなっております。

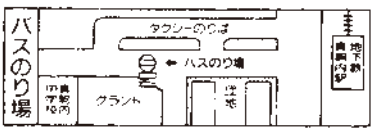


考える会当初の話し合いの条件にも合ってきており、遊歩道を含めた工事を早急に再開をお願いすると共に、完成を早やめてほしいと願うものです。

永久に生きる花と緑の明るい聖地
真駒内滝野霊園
札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間
午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00



お問合せ・お申込みは　真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223㈹

福祉を支える人　浦西（うらにし） 光枝（みつえ）さん

プロフィール

1945年　山梨県生まれ
1964年　札幌東高校卒
1969年　結婚。一男一女

ボランテァを始めたきっかけを伺うと、「25年間続けたパートの仕事を辞めて毎日が何か物足りなさを感じていた頃でした。趣味のガーデニングを通じて知り合った、花を咲かせる会の関係者に声をかけて頂き、国道453号線の花壇造りを地域のボランティアで行っているのを知りました。私にも何か出来る事があればと思い参加することになりました。」といいます。

「初めて花壇の手入れを受け持つことになって驚いたのは〝水やりはしなくてもよい〟という事でした。それは植えつける前日から苗を水に浸けて置くことで、後は苗の自立と自然の恵み（雨）にまかせると云う事でした。担当花壇は自宅から離れているけれど、水やりはしなくてよいので、私にも続けることができ、5年が経ちました」

「草花を育てるのは自然が相手の部分が多いので、病害虫もあって思うように育たないこともありますが、花壇が道行く人々の癒しに少しでも役立っているとすればうれしく思います」と話されています。

ご本人は、常盤中学校に近い花壇を受け持ち管理くださり、国道453号からアートパーク団地へと花でつながる「花街道」を夢みていました。

アートパークに住んで23年。趣味と聞かれれば、「木彫り」とのことでした。

第17回芸術の森地区運動会

佐藤　優司

8月28日（日）、常盤小学校において、7地区対抗の運動会が快晴の空の下、地域の皆様が多数参加され、楽しく競技が行われました。

小・中学生の徒競走に始まり、幼児から大人の玉入れ競技、そして、当地区のオリジナル競技のパークリングでは、この日一番の盛り上がりで、一球打つたびにため息と歓声が起こりました。後半の競技、一升瓶物語と百足競争では、各チーム逆転優勝を狙い、選手も応援の人も熱が入り、大接戦となりました。

結果は、見晴・八区町内会が前年度に続き3年連続の優勝となりました。準優勝は、サンブライト町内会。3位は、常盤・空沼・常盤台町内会でした。今大会も、地域の皆様のご協力により、無事に終えることができました。誠にありがとうございます。

又、常盤小学校の校長先生はじめ先生方のご協力もいただき感謝申し上げます。来年は、石山東小学校に会場が移ります。一年後の再会を誓い大会を終えました。

サマー レクリエーション開催　by Fu' sスノーエリア

芸術の森地区青少年育成委員会

7月30日（土）、Fu'sスノーエリアで、子供たち（小学生）を対象とした「サマーレクリエーション」を開催しました。

冬に実施している初心者スキー教室のほかに何か夏休みにできないかとの思いから、初めての取り組みとして計画しました。参加者は15名で、午前中は、3組に分かれ、各組ごと協力してポイントを探し、問題を解いて進んで行くというウォークラリー、お昼はみんなで火を起こし、にぎやかにバーベキューを食べお腹いっぱいになりました。午後はスポーツバイキングで、スケボー、ローラースケート、Jボード、MBT、etcみんな思い思いの道具で、スタッフの指導を受けながら楽しみました。

とても楽しい1日を過ごすとともに、各学年、各学校を交えての交流を深めることができました。来年も予定していますので、是非参加して、色々な遊びを通じて交流を深め、新しい友達を作ってみてはどうでしょうか。

研修会に参加して ── 雑感

堀川　昭八

去る7月13日、連合会女性部の市内研修会に、関口会長さんともども参加させていただきました。三上部長さんの数日前の話では、「ホクレンの工場と中沼選別センターの2箇所だけですが、研修行事としてはわりと中味の濃い、時間的にも一日工程として十分」とのことでした。

「ホクレン工場」なるところは、石狩新港西2丁目所在の「ホクレンパールライス工場」で、稲作の歴史から現在の生産等管理態勢、更に高品質へのこだわりが説明され、最後は思ったとおり同社ホクレンが誇る無洗米「ななつぼし」のミス北海道米宮本さんの流れるような宣伝で終えたのでした。誰しもが物足りない顔をしていたのでしょうか。玄関近くまで見送りに出た宮本さんらが、帰ろうとする私たちにニコッと笑いながら、各人ごとに無洗米（2ｋｇ）を手渡してくれたのです。「爺々婆々2人暮らしには本当に助かるよ」と、誰にいうとなく本音を吐き、そそくさと仕舞い込みました。

「中沼選別センター」は、元連町・環境衛生を担当していた関係もあり、お陰様であの（説明会場での）匂いは何回となく体験しましたが、何回経験しても「自分で出したごみの匂い」とは思えず、「どんな奴がよくもこんな臭いものを出すんだろう」と、その都度思っていましたし、確かにその日も同じ思いで我慢していました。しかし神様は良くしたもので5～6分もすればその匂いにも慣れ、説明いただいた高桑さんの巧みな話術に引き込まれ、「実はこの匂い、今朝あなた方が出した（ごみ）の匂いですよ」も、一同笑いのうちに肯定してしまいました。

それにつけても同センターでは、その都度「自分の“分別”のいい加減さ」を再認識させられる“研修”を繰り返す我が身を情けなくさえ思います。

このたびの研修会でも、仕事とは言え貸し切りバスのドライバー大西さんの巧みな安全運転技術には、スタートからゴールまで、目の前で拝見しましたけれども、何も言うことはありませんが、ただ一言「恐れ入りました」。

三上部長さんはじめ役員の方々、そしてご同道いただいた皆さんにも厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

表彰　おめでとうございます

★北海道共同募金会会長表彰

（共同募金運動推進の功績（9月8日））

常盤団地町内会　様

常盤一区町内会　様

真駒内アートパークタウン町内会　様

★北海道石狩振興局住民運動実践功労表彰

（住民運動の実践者として、永年にわたり町内会活動等に尽力され、住みよい地域の環境づくりのため、現在も第一線で活躍されている）（10月19日）

三上　良子　様

交流「もちつき大会」の開催

幼児及び小学生と家族を対象とした恒例の交流もちつき大会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。もちつき体験をし、お餅を食べながら交流を深めてみませんか。

日時　12月11日（日）
- ▶幼児と家族
  10時30分～11時30分
- ▶小学生以上
  11時30分～13時

場所　常盤児童会館

主催　芸術の森地区青少年育成委員会

★お願い　器及び箸は持参してください。

編集後記

「ベクレル」だ、「シーベルト」だと、耳新しい“単位”が新聞・テレビを賑わせているうちに、それが“もと”になった3月の“あの日”から、9月11日で半年が経ちました。

この間、彼の地福島の人々は、その一部にせよ好むと好まざるとに拘わらず、故郷をはなれて身の置き場所から生業（なりわい）まで考えなければならず、今もそれは続いていると聞きます。

原発は、文化生活を享受する上で、あくまでも「安全」を追及しつつこのまま続けるべきなのか。それとも犠牲を払っても原発以外の他の方法を求めるべきか。

私達は、「福島の今」を聞くとき、これを他人事（ひとごと）とせず、自分なりの思いを確かめておくのも一考ではないでしょうか。

今回、一部カラー刷りにしてみました。（H）

広報「芸術の森」編集委員会

委員長	堀川　昭八	委員（監査）	馬場　宏
副委員長	三上　良子	委員	島田三千春
委員（会計）	佐藤　宗昭	委員	火山　正己